

Title	中国生鮮食品物流における問題点と改善方策について
Sub Title	
Author	鞠, 春涛(Kiku, Shiyuntou) 坂爪, 裕
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2039号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2039

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	坂爪 研究会	学籍番号	80430324	氏名	鞠 春涛
(論文題名)					
「中国生鮮食品物流における問題点と改善方策について」					
(内容の要旨)					
<p>急速に経済成長を遂げた中国では、近年外食産業が栄え、海水養殖も拡大し、さらにライフスタイルの変化を受けて冷凍食品も普及している。このような市場変化を受けて、生鮮食品を扱う冷凍冷蔵物流への需要が拡大と考えられる。</p> <p>しかし、中国では多くの物流問題が存在している。中国に進出している日系企業を調査した結果「中国物流レベルの低さが、進出している日本企業の事業拡大を阻害する要因となっている」と指摘されている。</p> <p>中国において、物流が極めて需要であるが、中国生鮮食品物流におけるオペレーション上の問題点及びその発生メカニズムを明らかにする必要がある。そして、問題点を改善するための方策を考察していきたい。</p> <p>日本語、中国語の文献研究と現地調査を通じて、中国生鮮食品物流における問題点を探索してきた。それらのデータを下に見、因果関係図を作成した。因果関係図上で根本原因は何か、ループは何か、矢印がどこに集中しているかを分析し、その構造を明白にする。</p> <p>本研究では、根本原因である「中国物流企業の作業者の意識が低い」を改善するためには5Sである。ループを断ち切るために「小規模で、分散して、存在している物流企業が多い」に着目して、小規模物流企業を協業によって、物流効率が向上させ、食品の安全性を確保でき、前門物流企業を育てられると提案していきたい。</p>					